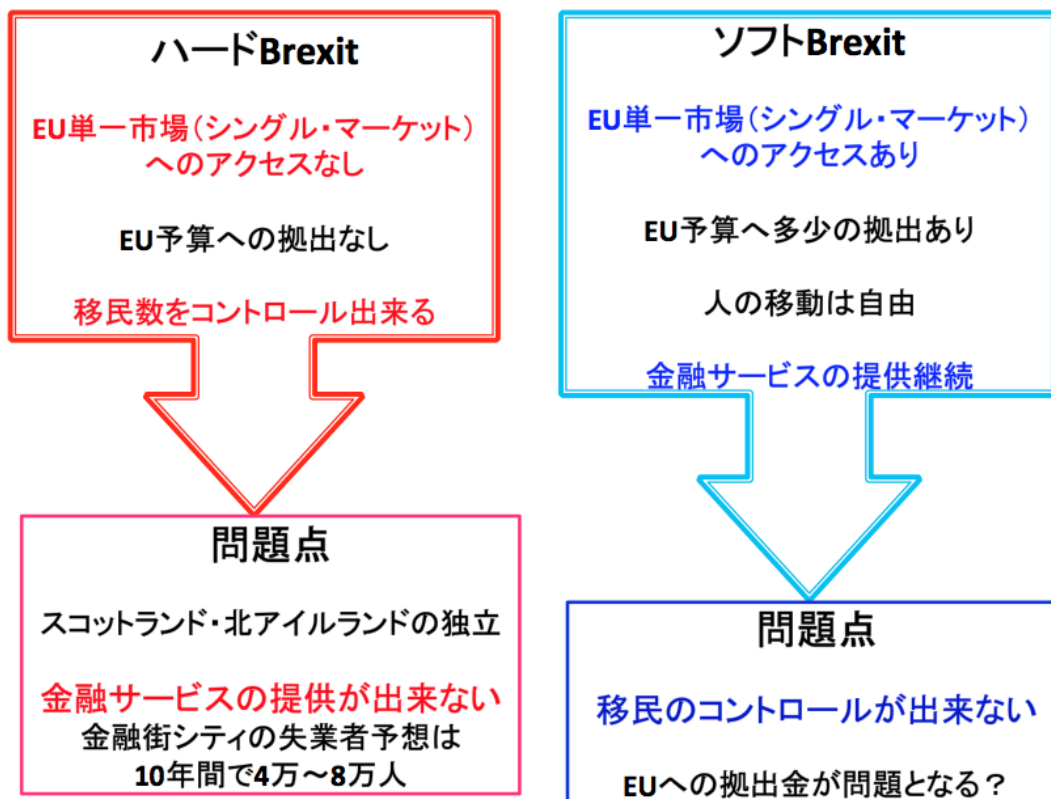


しかし、金融サービスよりも、移民数の制限を徹底したいのであれば、人の移動の自由を保証するシングル・マーケットのアクセスを絶たなければならない。つまり「ハード Brexit」となる。



驚いたことに、英国議会(下院)650人の議員のうち、75%に当たる490人は国民投票で「残留」に票を入れていて、「ソフト Brexit」を希望している。つまり、メイ首相とその取り巻き閣僚が決定した「ハード Brexit」案について議会で採決をとれば、ほぼ100%の確率で否決されてしまうのだ。そのため、文頭にも書いた通り、メイ首相は「50条行使前に、Brexit案について議会で採決を取ることは絶対に認めないと粘っている。

●最高裁の判決待ち

EU離脱に向けたBrexit案の内容に対し、議会の承認を求める訴訟が、10月13日(木)に最高法院に持ち込まれた。そして、12月には下院議員の一部が、EU離脱条件の内容について議会の採決を求め、最高裁に訴訟を起こすともいわれている。このニュースが出た10月18日(火)から19日(水)にかけて、「ソフト Brexit」が実現する可能性が出てきたと判断したマーケットは、英ポンドのショート・カバーが炸裂し、「英ポンド/米ドル」は1.23ドル台へ上昇している。



離脱条件内容に絡む議会での採決の必要性に関しては、政府所属の弁護士の間でも意見が分かれていることに加え、「50 条を行使する前」に決定された離脱条件について採決を求めるグループ」と、「2 年間の交渉期間後に決定された「最終案」に対してのみ、採決を求めるグループ」とにも分かれています、ますます判断に悩むところだ。

いずれにしても、ここからの英ポンドを取り巻く環境は、一筋縄ではいきそうにない。

● インフレ懸念とここからの英ポンド

今年 8 月から英中銀金融政策理事会 (MPC) の新メンバーとなった元シティバンクの主席エコノミスト: マイケル・ソーンダース理事が先週議会証言を行った。そこで同理事は、「英ポンドが 20% 下落すれば、輸入物価は 12 から 13% 上昇する。これは、数年間にわたり、英国のインフレ率を 4% 程度、押し上げる要因となる。そのため、英ポンド下落によるインフレ率がオーバーシュートする可能性が高い」と語った。6 月の Brexit 決定以来、英ポンドは 18% 下落していて、ソーンダース理事の言葉を借りれば、数年間で 3 から 4% 近くインフレ率が上昇するリスクと背中合わせの状況だ。

11 月 3 日 (木) に発表される英中銀・四半期インフレーションレポートで、果たして英中銀は 2018/19 年のインフレ率予想をどの程度のレベルに設定するのか？もし、その予想がインフレターゲットの 2% を大きく超えるようであれば、追加緩和の可能性が大きく低下し、英ポンドのショート・カバーが吹き出すことにもなりかねない。



大手銀行の相場観を調べてみると、某米系銀行は「英ポンドは過大評価、とりあえず 1.20 ドル台へ下落」という見方であった。それに対し、某欧州系銀行は、「英ポンドは過小評価ゾーンへ。一旦は 1.29ドル台へ戻す」と考えているようだ。

私自身は、シカゴ IMM 通貨先物市場での英ポンド・ショートが史上最高レベルまで膨れ上がっているのが非常に気になるが、政府が「ソフト Brexit」案を支持すると約束しない限り、戻りを丁寧に売りたいと考えている。

【執筆者：松崎美子氏（ロンドン在住/元為替ディーラー）プロフィール】

東京でスイス系銀行 Dealing Room で見習いトレーダーとしてスタート。18 カ月後に渡英決定。1989 年よりロンドン・シティにあるパークレイズ銀行本店 Dealing Room に就職。1991 年に出産。1997 年シティにある米系投資銀行に転職。
その後、憧れの専業主婦をしたが時間をもてあまし気味。英系銀行の元同僚と飲みに行き、証拠金取引の話しを聞き、早速証拠金取引開始。

【本レポートの趣旨】

本レポートは松崎美子氏より発行されているレポートであり、情報提供のみを目的としております。

本レポート中のコメントは独自の見解に基づいたものであり、松崎美子氏、およびワイジェイFX株式会社共にレポート中の情報・意見等の公正性、正確性、妥当性、完全性等を明示的にも、黙示的にも一切保証するものではありません。

また、本レポート内のコンテンツ、データに関する著作権はワイジェイFX株式会社に帰属しております。

コンテンツ、データ等は私的利用の範囲内で使用し、無断転載、無断コピー等はおやめください。

さらに、かかる情報・意見等に依拠したことにより生じる一切の損害について、松崎美子氏、およびワイジェイFX株式会社は一切責任を負いません。

最終的な投資判断は、他の資料等も参考にしてご自身の判断でなさるようお願いいたします。